

水俣条約発効記念行事 ～発効に向けた水俣からの声～

日 時： 2017年7月1日(土) 場 所： 熊本県水俣市 主 催： 環境省、熊本県、水俣市、国連環境計画

2017年7月1日(土)、熊本県水俣市において、水俣条約が発効することを記念したイベントが開催されました。イベントでは、条約の発効に貢献した人々、条約の実施をリードしていく人々、そして水俣の人々らが、水俣条約への期待や水銀汚染のない世界を願う「水俣からの声」を発信しました。

リーダーたちの声

関環境副大臣の開会挨拶にはじまり、国連環境計画のソールハイム事務局長ら水俣条約の実施をリードする国・自治体・機関のリーダー達が登壇し、条約の発効を歓迎するとともに、その取りまとめに尽力した方々への感謝を述べました。また、水銀汚染のない世界を実現するために、それぞれの役割を果たしていく決意を述べました。



記念講演

水俣条約の採択・発効にいたるまでの交渉を、水俣条約政府間交渉委員会の議長として取りまとめたフェルナンド・ルグリス氏に記念講演をいただきました。ルグリス氏は、私たちは水銀による人類の健康・環境への脅威に立ち向かうための正しい方向に向かっており、水俣条約により世界規模で水銀の脅威に立ち向かうことができると強調しました。



水俣トーク

市長や水俣病の語り部、そして若い世代を含む「水俣の人々」が、水俣病を水俣条約として世界の人々の大切な命や健康を守るものにつなげたことを誇りに思う気持ち、水俣病のような悲劇を二度と繰り返してはならないという願い、世界の子供たちに環境保全の大切さをもっと感じてほしいという思いを紡ぎました。



若い世代からのメッセージ

水俣市の中学校から8名の生徒が登壇し、「世界中の人たちが水銀で涙を流さない世の中にしましょう」、「子供に水銀を使う仕事をさせないようにしましょう」、「世界の皆さん、水俣に来て水銀のことを学んでください」、「水俣条約で世界を守りましょう」というメッセージを世界に向けて発信しました。



「水俣からの声」の発信者たち



関 芳弘
環境副大臣



エリック・ソールハイム
国連環境計画事務局長



田嶋 徹
熊本県副知事



マーク・シャルドネス
スイス環境局長官



石井 菜穂子
地球環境ファシリティ統括管理責任者



水俣市の中学生



フェルナンド・ルグリス
水俣条約政府間交渉委員会議長



西田 弘志
水俣市長



宮本 勝彬
前水俣市長



緒方 正実
水俣病資料館語り部の会会長



藺島 ひとみ
青年海外協力隊員



有田 雪菜
熊本県立水俣高等学校1年生



クラウディア・テン・ハーヴ
水俣条約暫定事務局上級プログラム調整官



望月 靖
国立水俣病総合研究センター所長



会場の参加者たち

水俣条約発効記念行事 ～発効に向けた水俣からの声～

日 時：平成29年7月1日(土)

会 場：熊本県水俣市(国立水俣病総合研究センター 水俣病情報センター)

主 催：環境省、熊本県、水俣市、国連環境計画

参加者数：148名

URL：http://www.env.go.jp/chemi/minamata_eif/index.html